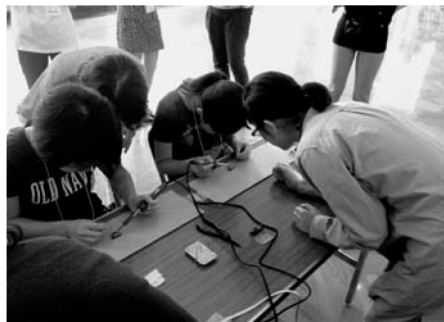


斜めの関係でキャリア支援

『リケジョ』は、講社Rikejoプロジェクトが作った言葉だ。いまやリケジョを主人公にした恋愛ドラマができるほどメジャーとなった。そもそもは、理系女性の生き方を示すことで理系を目指す女子中高生を応援しようと思ったプロジェクトである。私は、所属のエンパブリックがコミュニケーションの支援を行ってため、このプロジェクトに参画する機会を得た。バブル真つただ中に、浮かれて文系就職をしまった者としては、恩返し&運命

凛としていきる

# 理系女性の挑戦



## リケジョとの出会いは喜び

と思ひ活動をしてい

る。ダイバーシティが推進される中で、「理系女性を増やせ！」は、産業界での願いであり国の施策である。しかし、いくら大人が躍起になっても、「理系」

は中高生の女子たちの意思によって選択される。そして、願わくば「就職に有利だから」ではなく、「好きだから」と選択してほしい。そして、この「好き」おもしろそう！の場を提供するのが、私たちの仕事だ。

その一つに「素敵な大人」との出会いの提供がある。SNSを使いこなす中高生といえども、実際の彼女たちの世界は狭

い。出会う大人は、両親と学校の先生くらい。その中で「将来の職業から進路を考えろ」というのは無理な話だ。また、親や先生などの「縦関係」にある大人の言葉を素直に受け入れない難しい年頃でもある。その時に、「縦」でない「斜

め」の関係となる大人との出会いは、その人から発せられる言葉が、ど直球に彼女たちの心に届く。先輩リケジョと呼ばれる理系女性を紹介し続けるのには、この意味がある。

特別に立派な人でなくてもよい。普通に生きているどの人の言葉にも、その生き方から来る説得力がある。素敵な大人とだけ出会ったかが、彼女たちの人生を豊かにしてくれると私は信じている。

一方で、実は社外のメンターなど「斜めの関係」は、大人がキャリア形成をする上でも重要である。子どもも大人もリケジョが自らの意思で納得してキャリアを獲得していくため、こうした機会の提供に今後も尽力したい

と思う。

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEF)  
(火曜日に掲載)

エンパブリック  
(講社Rikejoプロジェクト事務局)

矢部 純代



＜プロフィール＞91年早大院理工学研究科修士。三菱UFJリサーチ&コンサルティング、マーケティング企業(ニールセン)を経て、08年より現職。地域の活動や起業、女性のキャリアデザイン支援などに取り組む。JWEF個人会員。